

学年 第3学年

時間 1時間

題材 工芸

題材について

工芸は中学校の美術科において表現活動でしばしば取り上げられる。ある年度の年間指導計画、5校分を見ると、木工芸（木彫額、パズル、木彫ドアプレートなど）が最も多く取り上げられ、ついで石の印鑑づくりが多い。少数ではあるが提灯、切り絵、折り紙、籐細工、紙の立体造形などが行われていた。用具の整備された学校では、陶芸、七宝、ステンドグラス、染色、革細工、金工の実践もあったと聞いている。

しかし、鑑賞の活動ではどうかというと、5校の年間指導計画のなかでは「工芸品の用と美」として1校が扱っているだけであった。美術史のなかで工芸品をとりあげたところもあるだろうが、中心になっているのは絵画や彫刻作品ではないかと思われる。それは、工芸についてはその技術的な側面が重視されているということ、教室で写真版を使っただけの鑑賞では工芸品のもつ繊細な美しさが伝わりにくいということがあるのではないかと思う。そのためか、生徒が実際に工芸品に接する機会があってもじっくり鑑賞する態度が養われていないような気がする。美術館での鑑賞レポートなどに工芸品を取り上げたものは極めて少ない。

工芸作品の鑑賞では、やはり本物の作品を見て、美しさを味わっていくのが一番いいと思う。そのときにそれらのものができるまでに積み上げられた伝統や、作者がいかに工夫を重ねて（見えないところに苦労がある）作品を作っているかを知って見るのがいいのではないだろうか。

指導要領との関連

[第1学年] 2内容 B鑑賞 イ

[第2学年及び第3学年] 2内容 B鑑賞 エ

目標

・工芸作品の美しさに気づき、それらが作られてきた伝統について知り、作品をじっくり鑑賞する態度を養う。

学習展開

学習活動（予想される生徒の反応）	学習内容	指導上の留意点
<p>（事前） 工芸作品には、陶芸・染色・漆芸・金工・木竹工・人形・七宝・ガラスなどがある。家にあるそれらのものを1つ見つけて次の時間に持ってくる。</p> <p>（本時） 持ってきたものを互いに見あう。 自分の持ってきたものが「工芸品」といえると思う人は手を挙げる。 同じように見える物でも工芸品といえる物といえない物がある。その違いを考えてワークシートに書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none">・値段・作者が有名かどうか・使うか飾るか・量産品かどうか <p>日本とアジアにおいて工芸品が独自の発展を遂げ、素晴らしい文化がある</p>	<p>日用雑器でよい。 あまり高価なものは避け、必ず保護者に言ってから持ってこさせる。</p> <p>「工芸」には「工作に関する芸術。製造に係わる技芸」「芸術的な工作物を作ること。」という意味がある。</p> <p>ものの価値を何で判断するかは、個人のとらえ方によることになると思うが、作品を美しいと感じたり、作品から作り手の気持ちを考えたりして判断していけるように導ければよいと思う。</p>	<p>普段使っているもののなかから工芸に関係ある物を選ぶことができたか。</p> <p>自分の持ってきたものが工芸品であるかどうか理由を付けて判断することができたか。</p> <p>工芸品の定義が理解でき、その優れた点を認識することができたか。</p>

<p>ことを知る。 量産品にも長年培われてきた技術が生かされていることを知る。 伝統的な工芸の技術を生かして作られている物を使っていて、優れていると感じたことはないか、ワークシートに記入して、発表する。 美術館にある工芸品の写真を見る。</p> <p>感想を書く。</p>	<p>量産品には価値がないということではない。持ってきたものを手に取ったり、使っているときのことを思い出させたりしてそのよさを感じてもらおう。</p> <p>美術館の工芸品を写真を使っていくつか紹介し、今日の授業で学んだことを思い出して鑑賞してほしいことを伝える。</p>	<p>参考写真をよく見ているか。</p>
---	--	----------------------

準備物

- ・ワークシート
- ・参考図版

<p>参考文献・資料</p> <p>第51回日本伝統工芸展図録 日本伝統工芸展運営委員会 2004年 第51回日本伝統工芸展 親子ガイドブック 日本伝統工芸展広島展実行委員会 2004年 日本工芸会ホームページ http://www.nihon-kogeikai.com/ 広島県立美術館コレクション選 広島県立美術館 1996年 広島県立美術館ワークシート「象嵌彩窯変磯蟹大皿」「河井寛次郎の作品」 「伊万里柿右衛門様式色絵馬」「黄瀬戸竹花入」 「紬織 着物 枝垂桃」「文字入り四季文屏風」 「中央アジアの刺繍布」「ウズベクの経絨」 「紺地クリシュナ・ゴビ文金更紗」 「波に龍文水瓶」「トルクメン人の背飾り」 「刀筆天部奏楽方盆」「鷺蒔絵棚」</p> <p style="text-align: right;">ほか</p>
--

鑑賞ワークシート

工芸品の種類

持ってきたもののイラスト



しつ(=うるし)
陶芸、染色、漆芸、金工、木竹工、人形、七宝、ガラスなど

自分が持ってきたものは工芸品といえると思いますか？

いえる 漆塗りのものだから いえない 安物だから

工芸品とは？

生徒が考えた意見

伝統的な技術で作られた物。芸術品。飾る物。
人間国宝の人が作った物。高い物。

説明をしながら板書

(辞書には) 工作に関する芸術。製造に係わる技芸。芸術的な工作物を作ること。
使うもの～日々使うものに美しさを求める心。
技術～作られる土地の気候、風土。 土、竹、漆
伝統～より美しくするための工夫。
文化～茶の湯など、長い歴史の中で培われた美意識。
芸術家～作品によって、歴史に名を残す人もあった。

無名(銘)の作品にも、すばらしいものがある。 民芸
日用品(大量生産品)の中にも工芸の技術や心が生かされているものもあるが、工芸品とはいわない。

工芸品の鑑賞

美術館で本物の作品を、細かいところに注意してじっくり見てみる。

伝統的な技術を生かして作られたものを使っていて優れていると思うことをあげてみよう。

色が美しい。形が持ちやすい。丈夫。
あついお汁を入れても持つことができる。

感想

平成	年	月	日()	曜日
	第	学年	組	番 氏名